

山や畑に行く前に！

知っておきたいクマのこと



ツキノワグマを知り、出会いを防ぐ



被害の多くは人と熊が互いに気づかないまま接近し、不意に出会ってしまうことで起きています

僕たちは本来、臆病な動物なんだ。
人と会おうとびっくりして襲ってしまうこと
もあるんだよ。だから、出会わないように
僕たちのことを知ってほしいな！

1. ツキノワグマの基本知識

活動時間：夜間や朝・夕の薄暗い時間帯に活発になります。

感 覚：においや音に非常に敏感です。ただし、ヤブの中
では人の気配に気づきにくいことがあります。

行 動：なわばりを持たず、特定の場所にとどまりません。
食物を探して広範囲を移動します。

足 跡：指は5本。前足は横長、後足は縦長なのが特徴です。
柔らかい地面には爪の跡がくっきりしています。



2. 山や集落で見つかる「痕跡（サイン）」

木の幹に鋭い爪の跡があったり、木の実を器用に食べた跡が残っていたりします。



爪痕



クマ剥ぎの痕
樹皮をはがして内側を
かじった跡



木の実を食べた痕



フン

3. クマを引き寄せない地域をつくる

クマに「ここには食べ物がある」と覚えさせないことが最大の対策です。

対策1：クマの食べ物になるものを放置しない

- ・生ごみを屋外に放置しない。
- ・屋外ゴミ箱は頑丈なものを選ぶ。においの強いものは密閉する。
- ・柿などの放置果実や廃果は早めに回収し、不要な果樹は伐採を検討しましょう。
- ・クマを引き寄せる可能性のある農作物や養蜂箱には、電気柵を正しく設置・管理する。

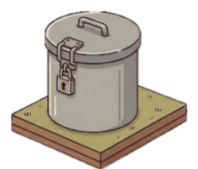


対策2：クマの休息場や通り道を作らない

- ・ヤブや草を刈って見通しを良くし、クマの隠れ場所をなくす。

対策3：行動に気を付ける

- ・朝夕の単独行動を避ける。
- ・音の出る物の携行する。
- ・目撃情報等の情報収集をする。





もしクマに出会ってしまったら

クマは会おうと必ず襲い掛かってくる動物でなく、危害を受けるかもしれないと感じると襲ってくると言われています。距離がとれている場合は、まずは落ち着きましょう。クマを驚かせることが被害に繋がることもあります。

取るべき行動 クマの様子を見ながら、ゆっくり後ずさりし、距離をとる



子グマの近くには母グマがいる可能性が高く、母グマは子グマを守るため、襲ってくる可能性があります。**子グマを見たらすぐにその場を離れましょう。**

やってはいけない行動

クマを刺激すると、襲われる危険性が高まります。絶対にしてはいけません。

背中を向けて
走って逃げる



大声を出す



近づく



物を投げる



万が一、クマが襲ってきたら

うつ伏せで首の後ろに手を組み、防御姿勢をとりましょう（首・顔・腹を守る）
リュックサックは背中を守ることができるため、背負ったままにしましょう。

※この防御姿勢は、致命傷を避け、重症化を防ぐ最終手段です。

